

## プレス発表資料

平成 27 年 5 月 21 日  
国立研究開発法人 防災科学技術研究所

### 第 6 回防災コンテストの開催について

～災害に強い協働型地域社会を目指して～

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、「第 6 回防災コンテスト」を開催し、6月から参加グループの募集を開始（12月締切）します。

防災コンテストは、地域での防災活動を支援するWebツール「地域防災キット」を活用し、地域固有の災害特性を理解・共有しながら、地域の防災に役立つ「e防災マップ」と「防災ラジオドラマ」を制作する取り組みです。

本コンテストは、自主防災組織、子供会、学生グループ、NPO、一般企業のような組織・団体などから一個人まで、地域の防災力を高めたいと考えている方であればどなたでも応募可能です。

当研究所は、本コンテストを通じて、地域防災上の課題とその対策を検討する過程において、地域の様々な関係者と協働し「絆」を形成することで、災害時に役に立つ地域の協力体制づくりを目指しています。

本コンテストの詳細については、下記の公式サイトをご覧ください。

「第 6 回防災コンテスト」公式サイト <http://bosai-contest.jp>

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

# 第6回防災コンテストの開催について

## ～災害に強い協働型地域社会を目指して～

### 1. はじめに

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、「第6回防災コンテスト」（参考資料1）を開催し、6月から参加グループの募集を開始（12月締切）します。

防災コンテストは、地域での防災活動を支援するWebツール「地域防災キット」（参考資料2）を活用し、地域固有の災害特性を理解・共有しながら、地域の防災に役立つ「e防災マップ」と「防災ラジオドラマ」を制作する取り組みです。

本コンテストは、自主防災組織、子供会、学生グループ、NPO、一般企業のような組織・団体などから一個人まで、地域の防災力を高めたいと考えている方はどなたでも参加申込み可能です。

当研究所は、本コンテストを通じて、地域防災上の課題とその対策を検討する過程において、地域の様々な関係者と協働し「絆」を形成することで、災害時に役に立つ地域の協力体制づくりを目指しています。

### 2. 開催概要

#### 1) 概要

主催	国立研究開発法人 防災科学技術研究所
後援	内閣府（予定）、文部科学省、一般社団法人 防災教育普及協会
日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 申込開始：2015年6月1日</li> <li>■ 応募締切：2015年12月下旬</li> <li>■ 結果発表：2016年2月上旬</li> <li>■ 表彰式・シンポジウム：2016年3月上旬</li> </ul> ※詳細は公式サイトよりお知らせします。
公式サイト	<a href="http://bosai-contest.jp">http://bosai-contest.jp</a>

#### 2) 募集内容

「e 防災マップ」及び「防災ラジオドラマ」を募集します。

<b>【e 防災マップ】</b> 行政や研究所・大学などが作成・公開するハザードマップをベースに、地域の災害時の危険箇所や災害時に役に立つ人、モノ、場所、行動などの情報をデジタルの地図に表したのです。	<b>【防災ラジオドラマ】</b> 災害時に起こりうる事態に対し、地域防災に関する課題やその改善につながる対策（利活用資源、協力関係者、行動など）を、時間の流れに沿って物語形式に表したものです。
---	--

#### 3) 参加対象

地域の防災力を高めたいと考えている方は、どなたでも参加できます。過去の参

加グループについては、3. 1) をご参照ください。

#### 4) 参加申し込みから応募までの流れ

①参加を検討している個人及び組織・団体の方は、防災コンテスト公式サイト (<http://bosai-contest.jp>) から、参加申し込みを行います。

②防災コンテスト事務局より「地域防災キット」及び「防災活動の手引き」をご提供します。

③申込時個人の方は、グループ（2名以上）を組み、キット及び手引きを活用し、作品を制作します。

申込時組織・団体等の複数名の方は、キットと手引きを活用し、作品を制作します。

④応募に必要なもの（作品、活動記録、所定の応募シート）を防災コンテスト事務局に応募します。

#### 5) 審査

普段から防災活動を行っているグループ及び本コンテストをきっかけに防災活動をはじめめるグループ別に、防災活動における経験程度に応じて「部門」を分け、防災に関わる学識経験者により構成される審査委員会にて、以下の視点に基づき、厳正な審査を行います。（3. 2）②参照）

<b>【部門】</b>	<b>■防災グループ部門</b> ：自主防災会、避難所運営組織、災害 NPO など、日ごろから防災活動に取り組んでいるグループ <b>■非防災グループ部門</b> ：学校、福祉団体、地域コミュニティなど、新たに防災活動に取り組むグループ
-------------	---

#### 【審査の視点】

a. 地域の災害特性や防災対策の現状、地域課題について調査し理解していること
b. 地域の様々な関係者（防災活動団体・組織など含む）と協力しながら作品を作っていること
c. 作品を活用し、地域の様々な関係者とコミュニケーションを図っていること
d. 地域防災上の新たな課題や改善につながるアイデアが含まれていること
e. 地域防災上の現状を見直し、新たな防災の取組みにつながる提案となっていること
f. 作品として優れたもので、作品に含まれているメッセージが地域に伝わること

#### 6) 表彰式・シンポジウム

受賞作品の表彰に加え、受賞グループより作品の制作過程や活動の成果などを紹介（発表）し、一般参加者も交えながら防災活動上の教訓や知恵について交流・意見交換会を行います。

<b>【発表】</b>	2016年2月上旬、「第6回防災コンテスト」公式サイトにて公開 ※優秀賞を先行発表し、表彰式にて最優秀賞を発表します。
<b>【表彰】</b>	<b>■e 防災マップ</b> ：最優秀賞1点、部門別の優秀賞各5点程度 <b>■防災ラジオドラマ</b> ：最優秀賞1点、部門別の優秀賞各5点程度
<b>【日程】</b>	2016年3月上旬（東京にて開催予定） ※受賞グループをご招待（当研究所規定に基づき、受賞グループ

	代表者1名分、未成年の場合は保護者1名を含む2名分の旅費を支給) します。
--	---------------------------------------

### 3. 第6回防災コンテストの特徴

#### 1) これまでの防災コンテスト

本コンテストは、これまでに計5回を開催しています。全国から延べ約500のグループが参加し、優れた防災活動事例が蓄積されてきています。過去の「e防災マップ」と「防災ラジオドラマ」の受賞作品については、下記のURLにて公開しています。

<b>【参加グループの例】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自主防災グループ：自治会、消防団、自主防災組織、避難所運営組織など</li> <li>・ 学 生 グ ル ー プ：中学生・高校生・大学生・各種専門学校など</li> <li>・ 地域支援グループ：まちづくり団体、福祉・障がい者支援団体など</li> <li>・ 地 域 グ ル ー プ：イベント委員会、コミュニティFM局、NPO、企業など</li> </ul>	
<b>【作品テーマの例】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災意識の啓発</li> <li>・ 要援護者の安否確認と支援</li> <li>・ 帰宅困難者の支援</li> <li>・ 避難所運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災拠点での情報共有</li> <li>・ 登下校中の安全な避難</li> <li>・ 福祉サービスの継続</li> <li>・ 災害経験・伝承                      など</li> </ul>
<b>【過去の作品】</b>	<a href="https://bosai-contest.jp/past.html">https://bosai-contest.jp/past.html</a>

#### 2) 今回の防災コンテスト

これまでの5回の経験を踏まえ、「第6回防災コンテスト」では新たに以下のような工夫をしています。

- ①従来は、既存のグループでなければ申し込めませんでした。今回から参加検討している人が個人で申込みを行い、「地域防災キット」入手してからグループを作成できるようにしました。
- ②より多くの方々に防災活動に取り組んでいただくために、普段から防災活動を行っている「防災グループ」と、本コンテストをきっかけに防災活動をはじめ「非防災グループ」の部門を分けた評価を行います。
- ③地域防災活動における様々な地域関係者との協力体制づくりを強化するため、防災活動団体・組織（防災NPOやFM局など）の支援を活用しながら制作した作品も評価対象とします。
- ④従来の受賞セレモニー中心の表彰式がより活況なものになるように、審査結果に対して優秀賞のみ先行公開（公式サイト）し、表彰式当日にて優秀賞の中から最優秀賞（e防災マップ及び防災ラジオドラマ、各1点）を発表致します。

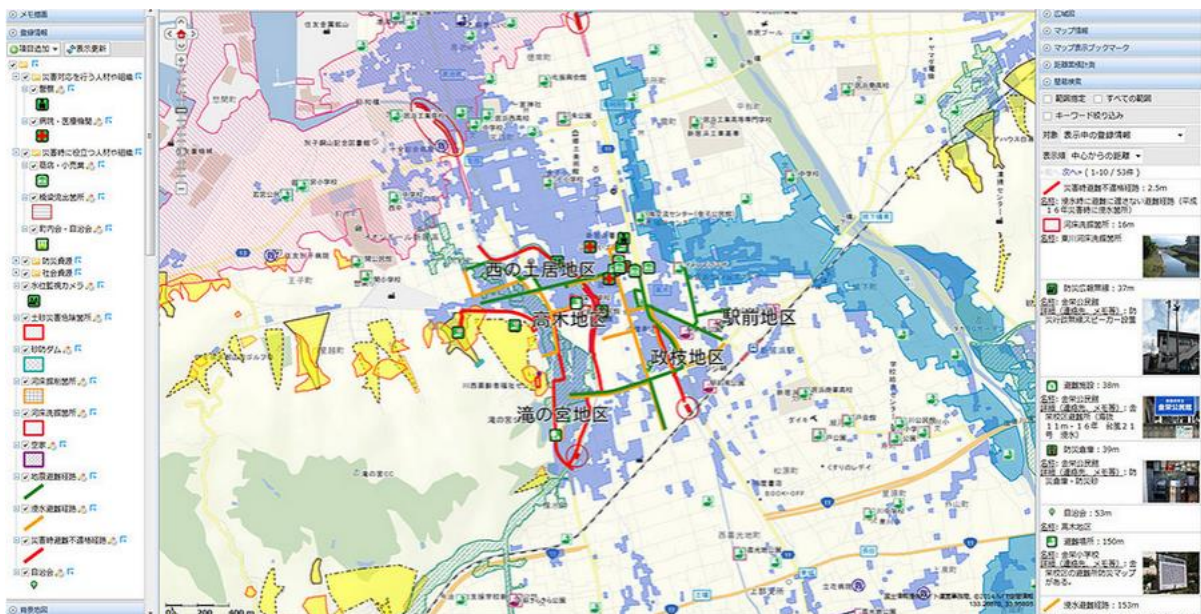
#### 4. 第5回防災コンテストの作品例

##### ■e 防災マップ 最優秀賞【金栄（きんえい）校区地震・浸水避難経路防災マップ】

- ・グループ名：金栄校区自主防災会（愛媛県新居浜市）
- ・主体：自主防災組織      ・対象災害：地震・風水害      ・テーマ：避難
- ・URL <http://bosai-contest.jp/emap2014group-award/group.php?gid=10751>

- ・概要：児童と住民が協力し、H16年台風災害の被災箇所と地震や豪雨災害が発生する際の危険箇所と役に立つ施設を調査し、校区内の浸水被害の避難所や避難ルート、地震の際の避難ルートに着眼して防災マップを作っています。
- ・特徴 ①大人に学ぶ地域防災、大人と探検する防災まちあるき、自らの目線での評価など、学校での楽しい防災教育として高い効果を発揮しています。  
②作品制作までの一連の活動を、行政の防災担当や学校関係者とも協力しながら子どもと一緒に実践し、子どもと大人の世代を超えた地域協働が形づくられています。

##### 【e 防災マップ】



##### 【活動記録】



<防災勉強会>

みんなで地域で起こりうる災害について学習



<防災まちあるき>

地域住民と学校の児童が一緒にのまちを探検



<防災マップ検討会>

学校の児童目線から防災マップを検証

## ■防災ラジオドラマ 最優秀賞【障がい者が避難所にきたら】

- ・グループ名：豊橋市障害者福祉会館（サクラピア）（愛知県豊橋市）
- ・主体：障害者福祉会館      ・対象災害：地震      ・テーマ：障がい者支援
- ・URL <http://bosai-contest.jp/drama2014group-award/group.php?gid=10264>

- ・概要：さくらピア避難所体験の一環として、障がい種別ごとの7グループによるグループワークを行い、共通テーマ「避難所における災害時要配慮者への配慮」を設け、障がい当事者とその支援者が一般参加者と協力し、障がい種別に、固有の課題と対策を作品制作に取り組んでいます。
- ・特徴 ①地域の避難所体験イベントにて障がいを持つ方と地域関係者が協力して障がい別のシナリオを制作し、身体的ハンディキャップからくる災害時の困難さをリアルに表現しています。  
②地域の方々も参加できる活動を展開し、支援者にとっての気づきを生みながら、障がいを持つ方の思いや行動を具体的に学べるなど、支援者にもわかりやすく受け入れやすい意欲的な取り組みがなされています。

### 【防災ラジオドラマ】（脚本）

ABグループ（身体障害、他）	
登場人物	
櫻島さん	避難所委員
後藤さん	町内住民
前田さん	町内住民
林さん	身体障害者、母が介護が必要
野口さん	町内住民
池田さん	町内住民

ライフラインがストップしてしまつと  
みんなが一番心配するのはトイレのこと。  
誰かが困っている時さりげなく声かけができるといいですね。

<ナレーター> 12月9日午前2時ごろ、豊橋地域に震度6の大地震が発生しました。詳しい被災状況はまだ分かりませんが、ライフラインがストップしてしまいました。夜明けとともに、地域の第一避難所に近隣の住民が集まりはじめています。

後藤 「どこに行けば良いですか？」  
前田 「あそこに受付がありますから、まずそちらへ行ってください」  
後藤 「分かりました」

AB1

櫻島	「こちらが受付です。名簿に記入してください」
林	「トイレは使えますか？お母さんがトイレに行きたいと言っています…」
池田	「小便是穴を掘ってやるしかないですね」
小川	「新聞にくるむとかどうですか？」
後藤	「公園だとマンホールに仮設トイレをたてたりしますよね？」
小川	「小学校のトイレって水が断水してるから使えないよね？」
前田	「今は冬だからプールの水もないし…」
櫻島	「小学校のトイレの便器にビニール袋をかぶせたのでそちらをお使いください。防災倉庫に簡易トイレがあるか確認してみます」
林	「母は介護が必要なんですけど、自分自身も手に障害があるので母を手伝ってくれる方も誰かいませんか～？」
野口	「私がやりますよ。私は身体障害者協会のボランティアをやってるんです。」
林	「それは助かります！」
野口	「それにしても寒いね～」
池田	「体育館でもたくさんいますから、風邪予防のためにこのマスクを使ってください。ボクいつも持ち歩いてるんで！」
櫻島	「みなさん、毛布を持ってきてましたのでこちらに並んでください」
野口	「やっときたわね～。林さんのお母さんの分ももらってくるから待っていてね」
林	「全然知らない人なのに、優しくしてくれる。地域にはこんなにいるんだな～。もっと地域のつながりを大切にしないかな～。ボクは障害があるけど、この避難所の中で何か自分ができることはないか見つけてみよう！」
おわり	

AB2

### 【活動記録】



<イベント>

いろいろな障がいを持った方が楽しいイベントに参加



<避難所体験>

避難所で寝泊まりの不便さを体験



<シナリオづくり>

体験したことを踏まえて脚本を作成

■ 第6回防災コンテスト (チラシ)



年度

**第6回**

地域の絆をつくる

グループ  
大募集

防災活動に参加してみませんか?




「防災コンテスト」は、災害時に役に立つ地域の協力体制づくりを目指す取り組みです。

**e 防災マップ**



「防災活動の手引き」と「地域防災キット」を利用し、「活動のステップ」に沿って「e 防災マップ」または「防災ラジオドラマ」をつくります。

**防災ラジオドラマ**



**活動ステップ**

STEP1 確認する → STEP2 調査する → STEP3 検討する → STEP4 活用する

**日程**

- 申込開始 2015年6月上旬
- 応募締切 2015年12月下旬
- 結果発表 2016年2月上旬
- 表彰式・シンポジウム 2016年3月上旬

**参加資格**

地域の防災力を高めたいと考えている方は、どなたでも参加できます。

- 防災グループ部門: 自主防災会、避難所運営組織、災害NPOなど、日ごろから防災活動に取り組んでいるグループ
- 非防災グループ部門: 学校、福祉団体、地域コミュニティなど、新たに防災活動に取り組むグループ

※ 本コンテストをきっかけにして、多くの方が防災活動に取り組んでいただくため、部門を分けた審査を行います。

**表彰**

- e 防災マップ
  - ・最優秀賞1点
  - ・優秀賞ほか10点程度
- 防災ラジオドラマ
  - ・最優秀賞1点
  - ・優秀賞ほか10点程度
- 表彰式・シンポジウム
  - 2016年3月上旬 (東京にて開催予定)
  - ※ 受賞グループをご招待!
  - (詳細は募集要項をご参照ください)

**お申込み・お問合せ**

防災コンテスト  

<http://bosai-contest.jp>

主催



独立行政法人  
防災科学技術研究所

後援



内閣府  
Cabinet Office, Government of Japan

後援



文部科学省  
一般社団法人  
防災教育普及協会

## ■ 「地域防災キット」

当研究所が開発したeコミュニティ・プラットフォームを基盤とした、地域での防災活動を支援するWebツールです。「防災活動の手引き」に沿った手順を示すことができるほか、地域の情報を引き出すことができ、それらを活用することもできます。

2014 8月防災マップコンテスト  
〇〇自主防災会のグループページ

第5回コンテスト参加者グループページ  
(第6回コンテストに向けてグレードアップ予定)

地域防災キット

ステップ1 確認する

地域を設定して特性を確認する

地域を設定すると、その地域の災害特性や社会特性が自動的に表示されます。

① 地域を設定

住所: 東京都 荒川区 北千住  
面積: 53270.4 m<sup>2</sup> (0.533 km<sup>2</sup>)  
人口: 11193.9 人  
面積ハザードマップ:  
つくば市産のやすきマップ  
つくば市地域の危険度マップ  
葛飾区自治体防災マップ

災害特性: 地震・津波・水害などの危険度が示されています。  
社会特性: 人口、世帯数、幼年・高齢者数が示されています。

地域のハザードマップを探す

指定した地域のエリアから、マップ作成の際にダウンロードして活用できるハザードマップ等のマップを探します。なお、エリア内に含まれるハザードマップが無い場合もありますので、自動的に開いたページにご覧になっているかどうか確認しましょう。

地域に取得するハザードマップ

検索ワード: 地震 津波 水害

検索

e防災マップ

足立区

参加者が防災活動を行う地域の災害特性を、地域防災の観点から自動で診断して情報を提供します。

本年度からは対策の検討内容をここから入力できる仕組みになっています!

その地域の災害特性に応じたハザードマップを選択することができます。

選択したハザードマップを下地に、地域の災害対策の目的に応じたマップを作成できます。

パソコンの画面の中で簡単にマップを編集することができます!

点や線などはもちろん、写真も貼り付けることができます。紙にして印刷も可能です!